

4階東病棟

診療科

産婦人科

病床数

50床（回復新生児6床含む）

看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師8名、助産師23名

主な疾患

婦人科：子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、腹膜がん、子宮筋腫、卵巣腫瘍など
産科：経陰分娩、帝王切開、切迫流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮外妊娠、産後異常出血など
新生児：新生児黄疸、低出生体重児、新生児一過性多呼吸など

治療・検査

婦人科では主に手術、化学療法、放射線療法などを行っています。
産科では様々な合併症を持つ妊産褥婦の管理、ハイリスク妊産褥婦管理などを行っています。
新生児は黄疸治療やNICU後方病床として治療などを行っています。

看護の特徴

婦人科は周術期看護、化学療法・放射線療法の看護を行っています。院内認定がん化学療法看護師が中心となって化学療法患者のケアに力を入れています。また、緩和ケアチーム、リハビリなど多職種と連携し、退院を見据えた患者支援を行っています。

産科はローリスク・ハイリスクすべての妊産褥婦を対象とし、地域周産母子センターとしての役割を果たしています。外来で助産師が保健指導を行い、外来から入院・退院まで継続したケアができるよう支援しています。新生児は正常新生児から新生児黄疸、低出生体重児など治療の必要な新生児の看護を実践し、母の希望に応じて母乳育児に取り組んでいます。

また、退院後の生活を考え、外来・入院時から患者支援センターと連携し、退院支援を強化しています。

